



認証番号0005548

環境経営レポート 2023

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

発行日：2023年7月1日



日立建機グループ
新東北メタル株式会社

【 目 次 】

1. 環境経営方針	2頁
2. 事業概要	3頁
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 活動範囲	
(4) 環境管理責任者及び連絡先	
(5) 事業内容	
(6) 事業規模	
3. 活動経営目標	4頁
(1) 2022年度及び中期（2024年度）数値目標	
(2) その他取組の行動目標	
(3) 実施体制	
4. 実績・取組結果	5頁
(1) 実績値と分析	
(2) エネルギー使用量及びCO ₂ 排出量の推移	
(3) 行動計画取組結果	
5. 2023年度及び中期(2025年度まで)目標	6頁
(1) 経営〔数値〕目標	
(2) 経営〔行動〕計画	
6. 活動状況【写真集】	7頁
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8頁
8. 管理責任者の評価	8頁
9. 代表者による評価と見直し・指示	9頁

環境経営方針

基本理念

鑄鋼品の製造・販売を通して、内外から信頼される企業姿勢を確立すべく「環境との調和・社会との共生」を考えた環境経営システムを構築し、自主的かつ継続的な環境保全・改善活動の推進により広く社会に貢献します。

行動指針

- 1.電力、LPG等省エネルギー推進により、二酸化炭素削減を推進します。
- 2.廃棄物・水の削減等省資源に努めます。
- 3.化学物質の使用量削減、適正管理に努めます。
- 4.生産資材の環境配慮製品の活用を推進します。
- 5.鑄鋼品工場として、クリーンファクトリーを目指します。
- 6.生産工程改善、品質の向上により生産性向上を推進します。
- 7.環境関連法規等を順守します。
- 8.環境経営方針を全社員に周知徹底するとともに、環境保全・環境改善に関する意識向上のための教育と啓発に努めます。

2016年4月1日制定
2021年7月1日改定(第3版)

新東北メタル株式会社

社長 来栖 直敏

(1) 事業者名及び代表者名
 新東北メタル株式会社
 代表取締役社長 来栖 直敏

(2) 設立
 2001年4月1日

(3) 所在地
 本社・工場

〒018-3301

秋田県北秋田市綴子字上台121-2

TEL : 0186-62-2381 FAX : 0186-62-2387

HP : <https://www.shintoshokumetal.co.jp/>



当社生産部品が使用されている日立建機超大型ショベル EX5600

(4) エコアクション21の活動範囲
 本社・工場（全組織、全活動が対象）

(5) 環境管理責任者名及び連絡先
 責任者：管理部長 黒田 淳
 連絡先：TEL・FAX 所在地と同じ
 e-mail : m.kurota.rh@shintoshokumetal.com

(6) 事業内容
 鋳鋼品の製造・機械加工及び販売
 【建設機械、産業機械、橋梁、建築、他部品】

(7) 過去3年間の事業規模

規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
資本金	千円	255,000	295,000	295,000
生産量	t	1,844	2,593	3,259
従業員数	人	95	98	99

環境経営方針及び現行負荷・取組内容等を踏まえ、日立建機グループ全体の目標を考慮した上で、実現可能と考えられる削減幅を設定して目標としている。

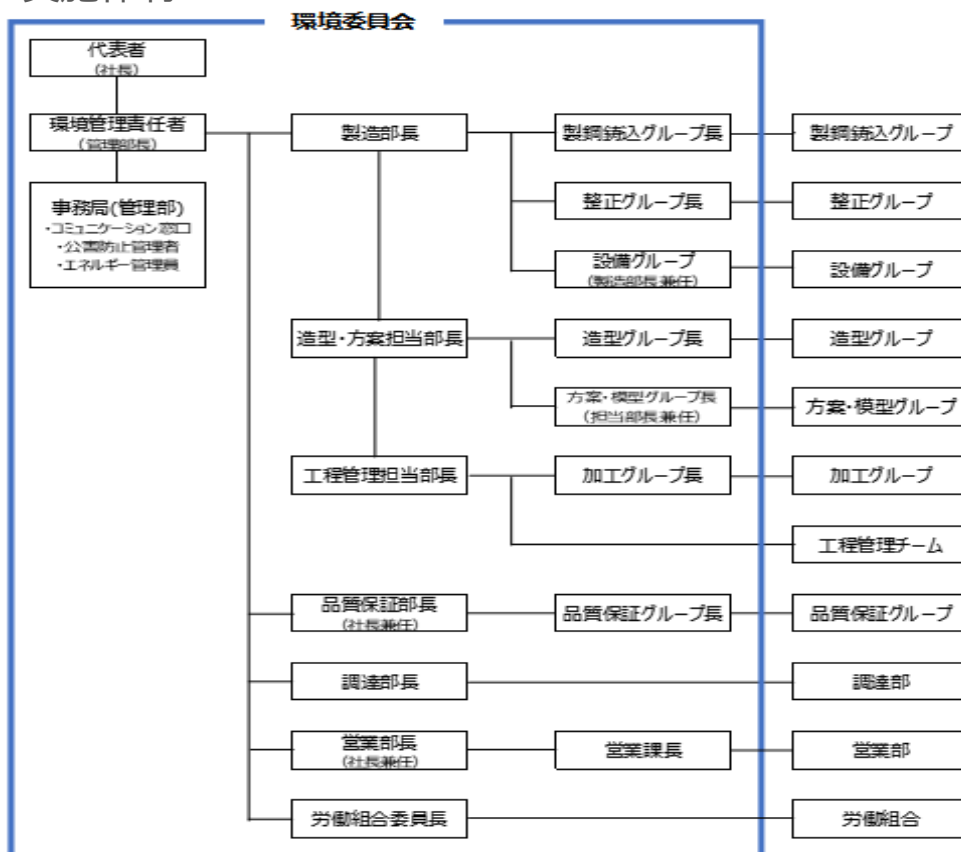
(1) 2022年度及び中期(2024年度)数値目標

項目	単位	基準値 (2010年度)	中期目標 (2024年度)	2022年度目標
二酸化炭素排出量 (総量)	t-CO ₂	5,368	4,790	4,439
二酸化炭素排出量 (原単位)	t-CO ₂ /生産t	1.70	1.35	1.45
水使用量	m ³ /生産 t × 100	0.15	0.13	0.14
産業廃棄物排出量	産廃 t /生産t	0.41	0.53	0.55
化学物質使用量 (V.O.C)	使用 k g /生産t	3.32	1.48	1.50

(2) その他取組の行動目標

- ・『環境適合品購入の推進』
エコマーク及びグリーンマーク製品他、適合品の優先購入を継続する。
- ・『環境保全意識の向上』
全従業員を対象に環境教育を実施する。
- ・『地域環境への協力』
年1回、地域のクリーンナップ活動に参加する。

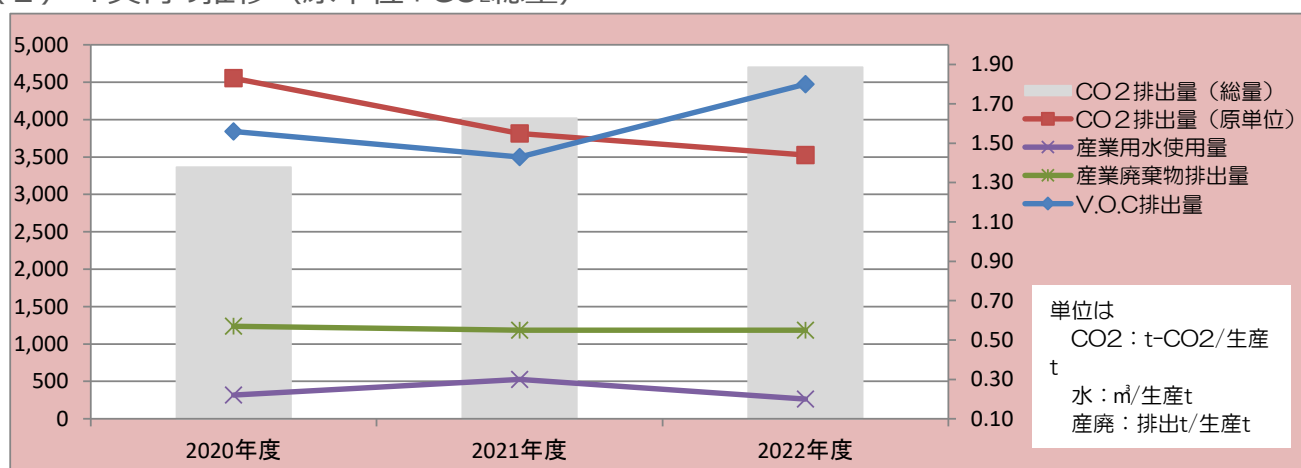
(3) 実施体制



(1) 実績値と分析

項目	過去実績			2022年度			担当者コメント	
	2019	2020	2021	目標 (原単位)	実績 (原単位)	達成率		
生産量(t)	1,844	1,844	2,593		3,259		計画比106%、前年比126%と、非常に良好な実績となった。	
CO2(t)	総量(t-CO2)	5,373.0	3,364.0	4,017.0	4,438.8	4,702.2	94.1%	生産量に伴って排出量も増加し、260t程のオーバーとなった。
	原単位	1.63	1.83	1.55	1.45	1.44	100.7%	達成とはなかったものの総量目標が優先である為、各種施策を積み上げ、引き続き削減に努める。
事業用途水(m)	0.21	0.37	0.30	0.14	0.20	57.1%	冷却塔からの漏水が主要因と思われる。設備保全を強化し、早期対応に努める。	
産業廃棄物(t)	0.55	0.59	0.55	0.55	0.55	100.0%	辛うじて達成となったが、引き続き削減に努めると共に再資源化策を模索する。	
化学物質(V.O.C)(kg)	1.45	1.56	1.55	1.50	1.80	80.0%	大幅未達となってしまった。製品構成が変わって塗料・カラーチェックの使用量が増加している事を鑑み、今後の目標を設定する。	

(2) 4 負荷の推移 (原単位+CO₂総量)



(3) 行動計画取組結果

部門	取組内容	環境目標項目	実施状況※				
			4~6	7~9	10~12	1~3	計
製鋼鑄込グループ	①溶解後、炉内に残る溶鋼量を低減する。	CO ₂ 削減	2	2	2	2	8
	②電圧及び通電時間を適正化し、溶解時間を短縮する。	CO ₂ 削減	2	2	2	2	8
造型グループ	鑄型に使用するライン砂量を適正化し、薬品使用量低減及びミキサー稼働時間の短縮を図る。	V.O.C削減 CO ₂ 削減	1	1	2	2	6
方案・模型グループ	①鑄型に使用する陶管の量を低減する。	廃棄物削減	0	0	0	1	1
	②押湯の数・サイズを適正化し、整正工程を短縮する。	CO ₂ 削減	0	0	1	2	3
整正グループ	①熱処理炉の設定温度を見直して、LPG使用量を低減する。	CO ₂ 削減	0	0	3	3	6
	②グラインダーブース集じん機に人感センサーを設置し不要時に停止させる。	CO ₂ 削減	1	1	1	1	4
加工グループ	①汎用ターニングの効率的な作業標準を策定し共有する。	CO ₂ 削減	1	1	1	1	4
	②NCターニングの効率的な作業標準を策定し共有する。	CO ₂ 削減	1	1	1	1	4
	③マシニングの効率的な作業標準を策定し共有する。	CO ₂ 削減	1	1	1	1	4
設備グループ	超音波カメラでエア配管の漏れを確認し、補修する。	CO ₂ 削減	0	0	0	1	1
管理部	①社有エンジン車2台をEV車1台に変更する。	CO ₂ 削減	0	0	1	1	2
	②厚生棟内照明器具67基をLEDに変更する。	CO ₂ 削減	0	0	0	1	1
	③事務用品を可能な限り、エコマーク・グリーンマーク商品にする。	グリーン購入	1	1	1	1	4
	④環境経営レポートを従業員全員に回覧し、意識向上を図る。	社員教育		2			2
	⑤地域のクリーンアップ活動に参加する。	地域活動	2				2

※未実施:0、実施-効果小:1、実施-効果中:2、実施-効果大:3

5. 2023年度及び中期(2025年度まで)目標

新東北メタル株式会社

(1) 経営(数値)目標

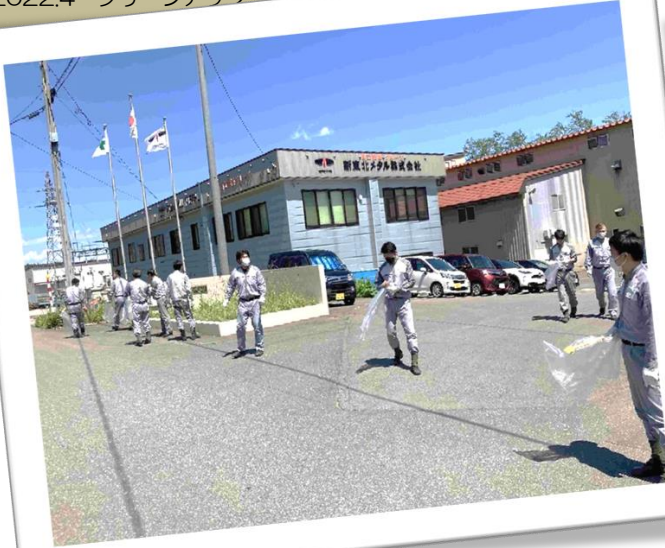
項目	単位	基準年度 (2010年度)	目標値(原単位)		
		基準値	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素 排出量	発生量(t)	5,368	5,266	5,188	5,120
	生産量(t)	3,162	3,956	4,045	4,153
	t-CO ₂ /生産t	1.70	1.33	1.28	1.23
水使用量 (事業用途)	使用量(m ³)	461	554	546	540
	生産量(t)	3,162	3,956	4,045	4,153
	m ³ /生産t	0.15	0.14	0.14	0.13
廃棄物排出量	発生量(t)	1,298	2,136	2,144	2,160
	生産量(t)	3,162	3,956	4,045	4,153
	t/生産t	0.41	0.54	0.53	0.52
V.O.C排出量	発生量(kg)	(2012) 30,537	6,725	6,674	6,645
	生産量(t)	(2012) 6,660	3,956	4,045	4,153
	kg/生産t	4.59	1.70	1.65	1.60

※電力排出係数は、東北電力
0.488t-CO₂/MWhで算出

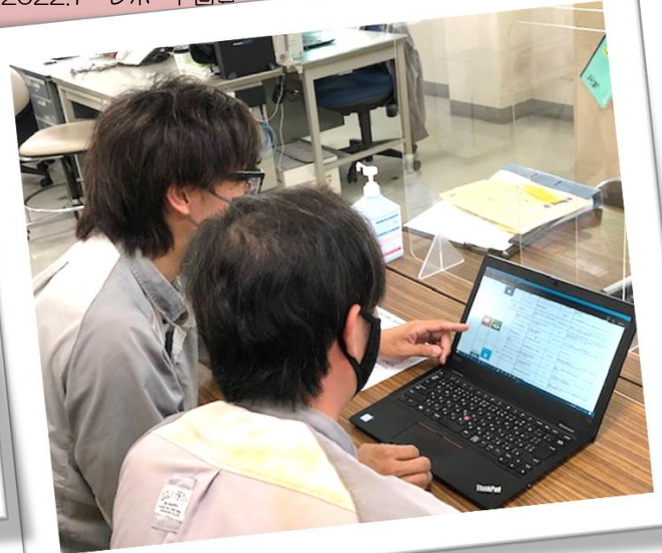
(2) 経営(行動)計画

部門	取組内容	環境目標項目
製鋼鑄込グループ	①溶解後、炉内に残る溶鋼量を低減する。	CO ₂ 削減
	②電圧及び通電時間を適正化し、溶解時間を短縮する。	CO ₂ 削減
	③排熱を活用してスクラップを予熱する。	CO ₂ 削減
造型グループ	鑄型に使用するライン砂量を適正化し、薬品使用量低減及びミキサー稼働時間の短縮を図る。	V.O.C削減 CO ₂ 削減
方案・模型グループ	①鑄型に使用する陶管の量を低減する。	廃棄物削減
	②押湯の数・サイズを適正化し、整正工程を短縮する。	CO ₂ 削減
整正グループ	①熱処理炉の製品毎に温度・時間を見直し、LPG使用量を低減する。	CO ₂ 削減
	②ショットブラスト機1台を更新した。	CO ₂ 削減
加工グループ	①汎用ターニングの効率的な作業標準を、製品毎に策定し共有する。	CO ₂ 削減
	②NCターニングの効率的な作業標準を、製品毎に策定し共有する。	CO ₂ 削減
	③マシニングの効率的な作業標準を、製品毎に策定し共有する。	CO ₂ 削減
設備グループ	超音波カメラでエア配管の漏れを確認し、補修する。	CO ₂ 削減
管理部	①社有エンジン車2台をEV車1台に変更する。	CO ₂ 削減
	②厚生棟空調設備を更新する。(3箇年で全て入れ替え)	CO ₂ 削減
	③事務用品を可能な限り、エコマーク・グリーンマーク商品にする。	グリーン購入
	④環境経営レポートを従業員全員に回覧し、意識向上を図る。	社員教育
	⑤地域のクリーンナップ活動に参加する。	地域活動

2022.4 クリーンアップ



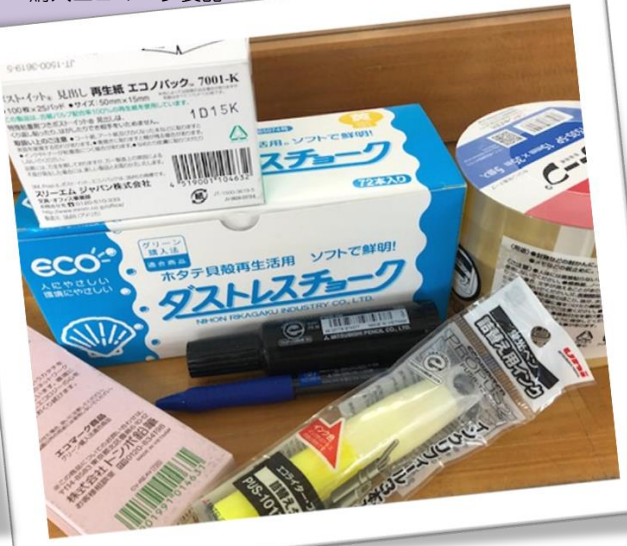
2022.7 レポート回覧



2022.9 流出防止訓練



購入エコマーク製品



産廃管理（廃プラ）



産廃管理（鉱滓）



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

新東北メタル株式会社

取組期間中の環境関連法規遵守状況は、2023年5月にチェックリストで確認し、その結果は下表の通りで法律違反は無かった。行政・地域住民・その他からの訴訟も過去3年間皆無であった。

区分	法規制等の名称	該当する要求事項(対応すべき事項)	判定	区分	法規制等の名称	該当する要求事項(対応すべき事項)	判定
大気汚染	大気汚染防止法	特定施設の届出	—	水質汚濁	水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出	○
		排出基準の遵守	○			保守点検、清掃、記録の保管(3年間)	○
		測定・記録義務	○			定期水質検査	○
		事故時の措置と届出	○			委託基準：一廃収集業者の許可の確認	○
	公害健康被害補償法	汚染負荷量賦課金の申告及び納付	○	委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○		
フロン排出抑制法	エアコン等の機器について定期点検(漏れ)を行なう	○	保管基準遵守	○			
省エネ	省エネ法 温暖化対策推進法	エネルギー管理統括者・管理企画推進者・管理者の選任・解任届	—	廃棄物	廃棄物処理法	マニフェスト交付、遅やかな報告、A、B2、D、E票の保管(5年間)	○
		中長期計画書の提出	○			産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
		定期報告書の提出(温室効果ガス算定排出量含)	○			産業廃棄物処理計画書の提出	○
	県温暖化対策推進条例	温室効果ガス排出量等報告書の提出	○			産業廃棄物処理実施状況報告書の提出	○
設置	工場立地法	特定工場に係る変更をしようとするときは、届出	○	保安	高圧ガス保安法	特定高圧ガス消費施設等変更の届出	—
		届出受理し90日を経過した後でなければ新設、又は届出に係る変更をしなければならない	○			特定高圧ガス取り扱い主任者届出	○
		届出事項に変更があったときは、遅滞なく、その旨を届出	○			CE設備保安検査	○
公害	公害防止組織整備法	公害防止統括者を選任し届出(資格不要)	○	保安	高圧ガス保安法	液化酸素設備自主検査	○
		公害防止管理者選任、特定工場は区分毎に選任し届出(資格要)	○			液化炭酸ガス設備自主検査	○
土壌汚染	土壌汚染対策法	3,000m ² 以上の土地の形質の変更をする者は、土壌調査を行ない結果・場所及び着手予定日他を届出	○	保安	高圧ガス保安法	LPG設備自主検査	○
		要届出区域内で土地の形質の変更をする際は、変更の種類、場所、施行方法及び着手予定日他を届出	○			危険物製造・貯蔵・取扱の指定数量以上の許可申請	○
化学物質	化学物質排出把握管理促進法	取扱者は排出・移動量を報告	○	保安	消防法	製造所等の危険物保安監督者の届出	○
		性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取	○			指定数量未満(1/5以上)の危険物保管の届出	○
劇物	毒物及び劇物取締法	盗難/漏洩防止容器、貯蔵場所に表示	○	保全・教育	環境活動・環境教育推進法	環境の保全に関する知識及び技能を向上させるために必要な環境教育を行うよう努める	○
		事故・盗難時届出(警察など)	—				

8. 管理責任者の評価

新東北メタル株式会社

評価項目	内 容
①環境関連法の遵守状況	環境法令等の違反は無し。
②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	『CO2排出量削減』は、生産量(出荷量)が計画比106%と、非常に好調であった事から原単位では100.7%の達成となったが、発生総量は目標に対し260t程オーバーし94.1%の未達であった。 また『水使用量削減』は、冷却水塔の故障による漏水等により使用量が増加し大幅未達。更に『V.O.C』も大幅未達だったが、これは従来と製品構成が変わって塗料・カーチェックの使用量が増加している事が要因と思われる。 活動計画は、RT施策として登録し部門毎に進めており、成果もそれなりに挙がっているものの目標達成の為にまだ不足であり、更なる活動・施策の積み上げが必要。
③問題点の是正処置及び予防処置の結果	2021年度も当年度と同じ『CO2削減』『水使用量削減』『V.O.C削減』の3項目が未達であったが、生産量が増加すれば大幅改善されると見込んでいた。しかしCO2原単位は大幅に向上したものの総量では未達、更に水・V.O.Cも未達となった。 やはり『水使用量削減』は設備保全体制の強化、『V.O.C』は従来と生産品の構成が変わってきて塗型剤・下地塗装用油性塗料・カーチェック等の使用量が増加している事から目標値自体を見直して設定して、達成を目指していく。
④外部からの苦情等の受付結果	無し。
⑤組織に影響する法規制動向	無し。
⑥グリーン購入の推進状況	価格を考慮したうえで、積極的に継続購入している。
⑦エコアクション 環境改善提案	今年度は無し。
⑧その他	毎月の『安全衛生・環境会議』議事録を全従業員に回覧し、安全意識と共に環境意識向上を継続的に図っている。 また、親会社日立建機(株)環境部門の指導を受けながら、取組を進めている。

見直し項目	評価	指示事項
1.環境経営方針	2021年7月に見直しをしており、問題無しと考える。	昨今のSDGs、カーボンニュートラルの対応強化がなされているが、周りの動向の情報収集を行って下さい。
2.環境経営目標 及び 環境経営計画	2022年度は生産量アップによりCO2総量は大きく増えたが原単位では目標達成となった。2023年度は更に生産量の増大となり同様の結果が予想される。	行動指針においていろいろな観点から精査して最適な指針となるよう常に考えておいて下さい。
3.実施体制	CO2削減ではRT15の施策登録を各部署で行って活動している。	左記の活動状況や会社全体での集計を行い、CO2削減の見える化をして下さい。
4.その他	特になし	特になし

